

令和6年度

編入学生募集要項

入学案内

(出願書類添付)



出願期間	検査日
令和5年9月11日(月)～9月15日(金)	令和5年10月14日(土)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

沖縄工業高等専門学校

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地

TEL 0980-55-4028 (学生課教務係)

FAX 0980-55-4012

E-mail gkyoumu@okinawa-ct.ac.jp

Web サイト <https://www.okinawa-ct.ac.jp/>

目 次

【学生募集要項】

I	アドミッションポリシー	1
II	募集学科・学年・人員	2
III	出願資格及び志望学科	2
IV	願書受付	3
V	出願手続	4
VI	出願上の注意	4
VII	選考方法	5
VIII	受験上の留意事項	7
IX	判定結果の通知	7
X	入学確約書の提出	7
XI	編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件	7
XII	検定料振込方法等について	8
1	振込方法（ゆうちょ銀行以外）	8
2	振込方法（ゆうちょ銀行の場合）	8
3	留意事項	8
XIII	入学者選抜に関する合理的配慮の提供について	9
XIV	個人情報の取扱いについて	9
XV	その他	10

【編入学のための学校案内】

1	創立	11
2	本校の目的	11
3	編入学制度	11
4	修業年限	11
5	教育課程	11
6	学生寮	11
7	高等教育の修学支援新制度	11
8	入学料・授業料・寄宿料の免除及び徴収猶予制度	12
9	奨学金制度	12
10	入学後の所要経費	13

【出願様式等】

- ① 編入学願書
- ② 志望理由書
- ③ 写真票・受験票・検定料払込通知書貼付票
- ④ 検定料振込書
- ⑤ 特別活動等申請書
- ⑥ 所見書
- ⑦ 入学確約書

令和 6 年 度

沖縄工業高等専門学校編入学生募集要項

I 沖縄工業高等専門学校の入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

沖縄工業高等専門学校（以下、「本校」という。）は、本科5年間にわたる一貫教育をとおして、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とし、以下の4つの教育目標を掲げています。

- (1) 技術者に必要な基礎知識を備え、実践力のある人材を育成する
- (2) 創造性を備え、自らの考え方を表現できる人材を育成する
- (3) 専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する
- (4) 広い視野と倫理観を備えた人材を育成する

このため、本校は、次のような人に入学してほしいと考えています。

1 全学科共通のアドミッションポリシー

- ・理数系分野に興味があり、それらの科目に基礎学力を有している人
- ・責任感や忍耐力があり、多くの人とコミュニケーション力を磨ける人
- ・規則正しい生活と、自発的に勉強のできる人

【入学者選抜の基本方針】

本校の教育理念に基づき、教育目標に沿った人材を育成するため、以下の方法で入学者選抜を行います。

- ・本校への関心があり、高等学校等を卒業後、技術者としての素養を身につけたいと強く希望する志願者に対し、本選抜を実施し、調査書、学力検査及び面接により選抜を行います。

2 各学科独自のアドミッションポリシー

機械システム工学科

- ・機械に興味をもち、機械の動く仕組みや構造を理解したいと思う人
- ・機械に関する専門知識と技術を習得し、モノづくりによる社会貢献を志している人
- ・機械工学を学ぶ上で必要な数学、理科、英語などの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲がある人

情報通信システム工学科

- ・コンピュータ、インターネットなどに興味を持っている人
- ・携帯端末などの新しい電子機器や電子工作に興味がある人
- ・情報や通信の技術を身につけて、社会に貢献したい人

メディア情報工学科

- ・コンピュータの新しい技術に興味を持っている人
- ・コンピュータを使って新しいものをつくり出す意欲のある人
- ・コンピュータを使った技術によって社会に貢献したい人

生物資源工学科

- ・生物化学、環境学、微生物学、食品化学に興味があり、探究心の強い人
- ・自ら学ぶ意欲を持ち、何にでもチャレンジしようという意思のある人
- ・バイオテクノロジー関連の技術者や研究者として社会に貢献したい人

II 募集学科・学年・人員

学 科 名	編入学年次	募 集 人 員
機械システム工学科 情報通信システム工学科 メディア情報工学科 生物資源工学科	(注) 第4学年	若 干 名

(注) 機械システム工学科、情報通信システム工学科及び生物資源工学科の編入学年次は、「VII 選考方法」に基づき選抜を行った結果により、第3学年になることがあります。

III 出願資格及び志望学科

本校への関心があり、高等学校等を卒業後、技術者としての素養を身につけたいと強く希望する志願者に対し、本選抜を実施し、調査書、学力検査及び面接により選抜を行います。

編入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校の工業、商業、商工高等学校、農林及び水産若しくは普通科を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者。

志望学科	出身高校における所属科等					
	工業	商業	商工	農林	水産	普通
機械システム工学科	○	○	○	○	○	○
情報通信システム工学科	○	○	○	○	○	○
メディア情報工学科	○	○	○	○	○	○
生物資源工学科	○	○	○	○	○	○

- (2) 中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者。

- (3) 文部科学大臣の定めるところにより、上記(1)及び(2)と同等以上の学力があると認められる者。

- (4) 外国において、学校教育における12年以上の課程（我が国の高等学校教育修了相当）を修了した者および修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した教育機関における課程等を修了した者および修了見込みの者。ただし、以下のア、イのいずれかを満たしていること。

ア 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（2021年9月から、2023年9月までに実施のいずれか）の所定の科目を全て受験すること。（出題言語は「日本語」により受験すること。）所定の科目は以下のとおりとする。

- ①「日本語」 ②「理科」（物理・化学・生物から2科目を選択） ③「数学（コース2）」

イ 「日本語能力試験」（2021年第2回試験から、2023年第1回試験までに実施のいずれか）において、N2レベル以上の認定を受けていること。

(注) 上記(3)又は(4)により出願する者は、事前に学生課教務係へ問い合わせてください。

IV 願書受付

期 間	令和5年9月11日（月）から9月15日（金）まで ※ 郵送の場合も、受付期間内必着とします。
時 間	9時から16時まで
場 所	〒905-2192 名護市字辺野古905番地 沖縄工業高等専門学校学生課教務係

V 出願手続

志願者は次の書類等を取りまとめ、**本校学生課教務係**へ提出してください。

①編入学願書	本校所定の様式に、裏面の「記入上の注意」をよく読んで必要事項を記入してください。
②志望理由書	本校所定の様式に、志願者本人が記入してください。
③編入学写真票	本校所定の様式に、「記入上の注意」をよく読んで必要事項を記入し、正面・上半身・脱帽で、出願3ヶ月以内に撮影した、タテ45mm、ヨコ35mm（パスポート規格）の写真を貼ってください。 ※写真裏面には氏名、志望学科を記入してください。
④編入学受験票	本校所定の様式に、「記入上の注意」をよく読んで必要事項を記入し、写真票と同じ要領で、写真票と同じ写真を貼ってください。 ※受験票は、志願者本人に郵送します。
⑤入学検定料 [検定料払込通知書貼付票]	16,500円 振込受付期間：令和5年9月4日（月）～9月15日（金） 本校所定の振込書様式に必要事項を記入の上、最寄りの金融機関の受付窓口から振込み、「払込通知書（高専用）」（ゆうちょ銀行の場合、「振込依頼書（お客さま控）」）を検定料払込通知書貼付票に貼ってください。 振込方法及び留意事項については、8ページを参照してください。
⑥特別活動等申請書	本校所定の様式に、志願者本人が記入し担任の押印をもらってください。
⑦所見書	本校所定の様式を用い、欄外記載の（注）に従って在学（出身）学校長が作成し、厳封してください。
⑧調査書	在学（出身）学校所定の様式を使用してください（卒業見込者の第3学年の記録は、 令和5年9月1日（金） 現在で記入してください。）
⑨受験票返送用封筒	長形3号の封筒（志願者が用意） に志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、354円分の切手を貼ってください。
⑩日本留学試験結果	独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「成績通知書」の写し（2021年9月から2023年9月までに実施のいずれか）を提出してください。
⑪日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書	2021年第2回試験から、2023年第1回試験までに実施のいずれかの「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。

※外国の学校又は機関が作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を添付してください。

※各様式等は本校 Web サイト (<https://www.okinawa-ct.ac.jp/>) からダウンロードできます。

なお、2 ページに記載の「Ⅲ 出願資格及び志望学科」(4)により出願する者は、**⑩または⑪のいずれかの書類を追加で準備し、本校学生課教務係へ提出してください。**

VI 出願上の注意

- (1) 出願手続後は、書類の返却及び記載事項の変更を認めません。
- (2) 出願書類等に不備がある場合は受理できません。また、出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類等を郵送する場合は、書留にし、「**編入学願書在中**」と朱書きしてください。

Ⅶ 選考方法

編入学者の選考は、学力検査の成績、提出された書類及び面接の結果により総合判定を行います。

(1) 学力検査の教科名、出題範囲

ア 学力検査は、一般科目は筆記試験を、専門科目は口頭試問を行います。

イ 出題教科及び範囲は、次のとおりとします。

	学 科 名	教 科 名	出 題 範 囲
専 門 科 目	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	専 門 科 目 (口 頭 試 問)	専 門 科 目 [工業数理基礎、機械設計、機械加工、材料技術基礎、電子／電気回路] 機械構造物にはたらく力、 機械設計にともなう強度計算、 機械加工法（機械材料）、直流・交流回路の基礎
	情 報 通 信 シ ス テ ム 工 学 科	専 門 科 目 (口 頭 試 問) A 又 は B を 出 願 時 に 選 択	A：専門科目 情報技術の基礎、プログラミング技術、電気基礎、 電子回路、通信技術のいずれかを試験当日に選択 可能
			B：理科 物理基礎・物理
	メ デ ィ ア 情 報 工 学 科	専 門 科 目 (口 頭 試 問)	コンピュータの基礎、セキュリティ技術、 ネットワーク技術、C言語プログラミングの基礎、 ハードウェアの基礎と構成
生 物 資 源 工 学 科	専 門 科 目 (口 頭 試 問)	生物基礎・生物、化学基礎・化学	
一 般 科 目	各 学 科 共 通	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学B（数列、ベクトル）
		英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ

(2) 選考日程

ア 検査日時及び実施場所

日時 令和5年10月14日(土) 9:00～

会場 沖縄工業高等専門学校 沖縄県名護市字辺野古 905 番地

イ 各学科の検査当日の日程

学科名	事項	時間	
機械システム工学科	志願者集合	9:00	
	一般	数学	9:30～10:30
		英語	10:50～11:50
	専門	口頭試問 及び 面接	13:00～
情報通信システム工学科	志願者集合	9:00	
	一般	数学	9:30～10:30
		英語	10:50～11:50
	専門	口頭試問 及び 面接	13:00～
メディア情報工学科	志願者集合	9:00	
	一般	数学	9:30～10:30
		英語	10:50～11:50
	専門	口頭試問 及び 面接	13:00～
生物資源工学科	志願者集合	9:00	
	一般	数学	9:30～10:30
		英語	10:50～11:50
	専門	口頭試問 及び 面接	13:00～

Ⅷ 受験上の留意事項

- (1) 令和5年10月14日(土)9時までに検査室の入口に集合し、係員の指示に従ってください。なお、検査開始後20分を超えて遅刻した場合は、その教科の受験を認めません。
- (2) 受験票及び筆記用具を必ず持参してください。
机上には受験票、筆記用具（HB程度の黒鉛筆又はシャープペンシル）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）以外は置けません。
- (3) 機械システム工学科の志願者は、関数電卓の持ち込みを可とします。（ただし、記憶機能のあるものは、持ち込み不可）
- (4) 校舎内への携帯電話などの通信機器類の持ち込みを禁止します。
- (5) 検査時間中は、やむを得ない場合を除き、検査室から退室できません。
- (6) 昼食は各自ご用意ください。上履きは不要です。
- (7) 受験のための宿舎の斡旋はしません。
- (8) 検査室に時計はありませんので、時計（計時機能だけのもの）を持参してください。
- (9) 服装は、文字や図形のプリントされたものを避けること。

Ⅸ 判定結果の通知

令和5年10月20日（金）付けの文書で本人に判定結果を通知します。

また、同日正午に本校のメディア棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、本校 Web サイト (<https://www.okinawa-ct.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します。電話等による判定結果の照会には一切応じません。

Ⅹ 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和5年11月20日(月)16時(必着・郵送の場合も同じ)までに本校学生課教務係へ「入学確約書」を提出してください（休日・祝日は受け付けません）。

「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

Ⅺ 編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件

- (1) 編入学の時期は令和6年4月1日とし、第4年次又は第3年次に編入するものとします。
- (2) 編入した者の修業年限は2年とします。ただし、第3年次に編入した者の修業年限は3年とします。
- (3) 編入した者の高等学校において修得した単位については、審査の上、卒業に必要な修得単位に読み替えて、校長がこれを認定します。
- (4) 編入した者の本校の卒業に必要な最低修得単位数については、別途、教育課程表に基づき、卒業に必要な単位数を定めるものとします。
- (5) 履修する科目等については、入学後個別に指導します。

XII 検定料振込方法等について

1 振込方法（ゆうちょ銀行以外）

- (1) 検定料振込書の*印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。
【依頼日、依頼人（志願者）、志望学科、志望学科コード、住所】
- (2) 金融機関の受付窓口から振込み、A T M（現金自動預払機）は使用しないでください。
- (3) 振込の際は、振込手数料を依頼人（志願者）が負担してください。
- (4) 金融機関窓口から「払込通知書（高専用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- (5) 「払込通知書（高専用）」は、検定料払込通知書貼付票に貼って、出願書類に同封して提出してください。
 - ・募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備え付けの銀行振込依頼書で以下の振込先まで振り込んでください。

振込先	琉球銀行 名護支店 普通預金 782732
受取人	コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ 独立行政法人 国立高等専門学校機構

- ・振込依頼人氏名欄は、志望学科コード、志願者本人氏名(カタカナ)の順に記入してください。

例 1 コウセンタロウ
 ↑ └───┬───┘
 志望学科コード カナ氏名

- ・金額及び志望学科コードは「検定料振込書」で確認してください。
- ・受領書の写しを「払込通知書（高専用）」の代わりに出願書類等に同封して提出してください。

2 振込方法（ゆうちょ銀行の場合）

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- (2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。その際、通知番号欄には志望学科コードを記入してください。
- (3) 振込後は、「振込依頼書（お客さま控）」を受領し、検定料払込通知書貼付票に貼って、出願書類に同封して提出してください。

3 留意事項

- (1) 入学検定料が振り込まれていない場合、「払込通知書（高専用）」（ゆうちょ銀行の場合、「振込依頼書（お客さま控）」）若しくは「受領書の写し」が出願書類に同封されていない場合又は「払込通知書（高専用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類等を受理できません。
- (2) 既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、次の場合は返還請求ができますので、本校学生課教務係に問い合わせてください。なお、返還は振込にて行い、その際の振込手数料をご負担いただきますので、振込手数料を差し引いた金額での返還となります。
 - ア 入学検定料を振込んだものの、出願しなかった場合

XIII 入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一月を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、受験者、受験者の保護者及び在学（出身）学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入学者選抜の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討報告会（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 在学（出身）学校等による支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても本校学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

※ 本校学生課教務係の連絡先は、10 ページの「XV その他」を参照してください。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入学者選抜後または入学後に合理的配慮に関して初めて申請をなされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

XIV 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、必要に応じて次の目的にも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

XV その他

編入学志願に関しご不明な点等ございましたら、以下の宛先までご照会ください。

〒905-2192	沖縄県名護市字辺野古 905 番地
	沖縄工業高等専門学校 学生課教務係
E-mail	gkyoumu@okinawa-ct.ac.jp
TEL	0980-55-4028
FAX	0980-55-4012

編入学のための学校案内

1 創 立

平成 14 年 10 月 1 日(学生受入は、平成 16 年 4 月から)

2 本校の目的

本校は、「教育基本法、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する。」ことを目的とした高等教育機関です。

3 編入学制度

高等学校の卒業者に対して本校第 4 学年または第 3 学年への編入学の門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。

4 修 業 年 限

2 年または 3 年

5 教 育 課 程

高専教育の特色は、実験・実習を重視した教育を行い、一般科目、専門科目が相互に関連づけられて、効果的に教育課程が編成されていることです。

なお、編入学生は第 2 学年または第 3 学年までの単位を既に修得したものとみなします。

6 学 生 寮

本校には、男子寮（定員 408 名）と女子寮（定員 138 名）があります。

1 年生と 2 年生は優先的に入寮することが出来ます。2 年生以上の学生が次年度入寮を希望する場合には、学生寮委員会で審議し、入寮の可否を通知します。

本校の学生寮は単に通学の便宜を図るためだけではなく、「学習の充実を図り、基本的な生活態度や社会性を身につけ人間的成長を促進させる」ことを目的とした教育施設としての役割も果たしています。

カードキー、防犯カメラ、赤外線センサーなどの警備設備のほか、当直教職員 2 名が寮内の安全を保持しています。

7 高等教育の修学支援新制度

令和 2 年 4 月から、本科 4 年生、5 年生及び専攻科生を対象とした授業料等の減免及び給付型奨学金の支給が行われています。詳細については、文部科学省高等教育の修学支援新制度ホームページをご参照願います。

8 入学科・授業料・寄宿料の免除及び徴収猶予制度

「7 高等教育の修学支援新制度」の他、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する高等専門学校においては、入学科、授業料及び寄宿料の免除制度があり、本人の申請により審査の上、免除の許可を受けることができます。

基準等は概ね以下のとおりです。

(1) 入学科について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は風水害等の災害を受けた場合その他やむを得ない事由により入学科の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学科の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を猶予することができます。

(2) 授業料について

各期授業料の納期前6月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において学生の学資を主として負担している者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合には、授業料の全額若しくは一部を免除することができます。

(3) 寄宿料（学生寮）について

学資負担者が死亡した場合または寮生若しくはその学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、寄宿料の納付が著しく困難であると認められる場合には寄宿料の全額を免除することができます。

9 奨学金制度

奨学金制度としては、学業・人物ともに優れ、経済的理由により就学が困難と認められる者に対しては、本人の申請により選考の上、奨学金の貸与を行う日本学生支援機構奨学金があります。

年次	第一種		第二種（有利子）ただし4,5年のみ
	自宅	自宅外	
3	21,000円	22,500円	-----
	10,000円		
4	45,000円	51,000円	20,000円から120,000円までの 10,000円単位の金額の中から選択
	30,000円		

※ 第二種奨学金… 有利子奨学金のことで本人が貸与月額（上記参照）を自由に選択することができます。

※ このほか、沖縄県国際交流・人材育成財団、地方公共団体等の奨学金制度があります。

10 入学後の所要経費

(1) 入学料、授業料その他の経費

項目	金額	備考
入学料	84,600 円	入学時
授業料	234,600 円	年額（前期と後期の2期に区分して納付することになります。）
教科書・教材費	約 58,000 円	学年・学科によって異なる場合があります。
独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金	770 円	令和5年度年額（保護者負担分） 学校管理下における学生の災害に対し、医療費等の共済給付を行っており、本校では全学生が加入することとしています。
後援会費	24,000 円	年額

※ 雑費として、これ以外にも経費が必要になることがあります。

※ ノートパソコン（140,000 円程度）を個人で準備していただきます。購入方法等については、入学手続き時にお知らせします。

(2) 学寮経費

項目	金額	備考
入寮費	3,000 円	入寮時（再入寮時には徴収しません。）
寄宿料（月額）	1 人部屋 800 円	
寮 費（月額）	寮管理費	4,300 円 エアコンリース料、共有部分の光熱水費、備品等の修理・購入、消耗品費として徴収。 ※9 月分、3 月分は徴収しません。
	居室の電気料	使用量に応じた分 居室の電気使用量に応じた料金を負担することとなります。
	食 費	約 32,400 円 食費は食事数により変動します。

※ 上記の金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

沖縄工業高等専門学校 位置及び交通機関

県内から

- 「那覇バスターミナル～名護バスターミナル」間(系統番号 77)、または、「中部病院～名護バスターミナル」間(系統番号 22)の路線バスにて「沖縄高専入口」下車、徒歩 5 分。
- 自動車の場合は、沖縄自動車道「宜野座 I.C.」を出て国道 329 号線を北に約 10km 左側。
(国道上の歩道橋が目印です。)

県外から(空港からの所要時間:約 2 時間)

- 那覇(なは)空港国内線ターミナル到着 2 番バス停から系統番号 111「名護(なご)バスターミナル」行きに乗車。「宜野座 I.C.(ぎのざインターチェンジ)」下車、「中央公民館前」から系統番号 77「名護バスターミナル」行きに乗り換え「沖縄高専入口」下車、徒歩 5 分。
- 那覇(なは)空港国内線ターミナル到着 2 番バス停から系統番号 117「オリオンもとぶリゾート」行きに乗車。「世富慶(よふけ)」下車、歩道橋を渡り道路反対側より系統番号 77「那覇バスターミナル」行きに乗換「沖縄高専入口」下車、徒歩 5 分。

